あぷろうち
～ approach ～

日本労働組合総連合会
群馬県連合会（連合群馬）
発行人　金子　裕昭
編集人　新井　智
〒379-2166
群馬県前橋市野中町３６１番地２
（群馬県勤労福祉センター２Ｆ）
ＴＥＬ　027―263―0555
ＦＡＸ　027―261―0549
Ｅメール　info@gunma.jtuc-rengo.jp
URL　http://www.rengo-gunma.gr.jp/
2014年8月号
No.229

すべての働く人、すべての職場に労働組合を！リーダーの情熱ある行動を！

Action! 連合群馬「1000万連合」実現に向けたトップセミナー

連合は「すべての働く人、すべての働く職場に労働組合をつくろう」を合言葉に、2020年「1000万連合」の実現をめざしています。連合群馬も結成以来過去最高人数12万５千人（プラス30,000人）を目標に取り組みを強化しておりその一環として６月21日、群馬県勤労福祉センターにて「1000万連合」実現に向けたトップセミナーを実施し、産別・単組・支部の代表や地協の議長をはじめ、各組織における組織拡大担当者、総勢80名が参加しました。

北川会長より組織化の必要性について「ブラック企業など課題を解決するために、ともに運動する仲間を増やし集団的労使関係を広げていくことが必要です。また、企業連における非正規労働者や子会社、関連会社で働く仲間の組織化を進め、企業力を高め働く上での安心・安定につなげて行くことは、その大切さを一番よく知っている各組織のリーダーを中心とした、我々の責務であります。我々の後輩、子どもたちが労働組合のない働く環境にならないようにより一層の時間と情熱を注ぎ込んでいきたい。」と「1000万連合」実現に向けた決意が述べられました。

熱心に耳を傾ける参加者の皆さん

本部組織化専任チーム 江口局長より、「今、組合リーダーに求められること」をテーマに集団的労使関係と労使自治の重要性について話がされました。

これまでの労働運動や組合づくりでの事例を盛り込みながら、「民主党政権下において、労働契約法（無期雇用への転換５年以上、雇い止め法理の法廷化など）、高年齢者雇用安定法、労働者派遣法など労働者のための法改正がされてきた。一方、多様化する雇用形態に労働組合が追従できずユニオンショップの脇の甘さから企業や労働組合が崩れていく例がでてきている。」と労働組合の責任によって雇用が失われる可能性や、「関連企業や非正規労働者も含めた競争力を支える仲間のユニオンショップ化・組織化を進めていかなければならない。」など組織拡大の重要性について語られました。

また、「リーダーは、“知識がある”“優秀である”とかでなく、働く仲間に耳を傾けられるかであり、一人を救えない者に全員は救えない。だからこそ組織はリーダーで決まってしまうことが組合にとっての強みでもあり、リスクでもある。各組織の働く仲間の将来はここにいるリーダーによって決まってくる。」と働く者の代表としての奮闘への期待が述べられました。

リーダーへの期待を語る江口局長

家族や友人が困っていませんか

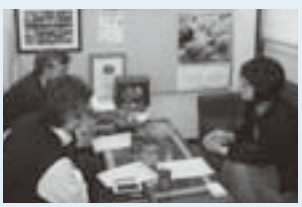
連合群馬は平日９:00～17:00まで無料の電話相談を行っており、毎日、労働組合のない企業で働く仲間からの相談がかかってきています。家族・友人など身近な方で悩んでいる方がおられましたら連合群馬「なんでも労働相談」を是非ご紹介ください。

■不払い残業　■有給休暇　などの労働問題

なんでも労働相談ダイヤル
0120-154-052

産別との対話行動ただ今、推進中

連合群馬は結成以来過去最高となる12万５千人（プラス３万人）をめざし、総力をあげ組織拡大に取り組んでいます。３月からは産別の組織拡大担当者との対話をスタート。組合づくりに向けた連携など課題や現状について情報交換を行っています。

また、産別と連携を密にした取り組みからひとつの組合が結成することができました。

これからも継続した連携をはかっていきます。